

御所奉渡御

〔續史愚抄後光明〕承應三年九月廿日丁未卯刻天皇御二年崩于下御所假殿依施瘡也 廿一日戊申今夜

假奉渡劔璽于法皇御方所小御 十月十七日癸酉以式部卿良仁親王西院可爲御繼體旨被仰法皇

淑慮于關東即奏言良仁親王去年令下關東給間踐祚事不可然歟先帝只皇女一今年有法皇降誕

皇子間可有御繼體哉而法皇不被聞食云

〔嚴有院殿御實記八〕承應三年十月五日高家品川内膳正高如寺社奉行松平出雲守勝隆上洛の暇

給ふこれも大喪の御事にてなりかつ先帝光明の儲君御幼稚にて花町宮をもて踐祚あら

まほしきむね仙洞の密旨あるをもてなり 十五日略 此十一日花町の宮繼體親王の宣下あ

りし旨注進あり 十六日略 高家今川刑部大輔直房は花町宮後西院親王宣下の賀使命せら

れ暇給ふ 十七日略 今川刑部大輔直房こたび上洛するにて花町宮に銀三百枚小袖二十

仙洞に銀三百枚綿二百把新院に銀二百枚綿二百把女院に銀二百枚綿百把女三宮女五宮に銀

五十枚花町宮北方に銀五十枚縹珍十卷進らせられ二條關白光平公に銀五十枚兩傳奏に大刀

馬代金一枚づゝあせち右衛門佐の局へ銀二十枚づゝ長橋局へ銀三十枚たまふ

〔皇年代略記後堀河〕建曆二三月十八日誕生承久三年七月九日辛卯踐祚十依天下擾亂爲關東沙汰有立王及法皇尊號事

〔帝王編年記後堀河〕建曆二年壬申二月十八日子剋誕生承久三年七月九日辛卯踐祚

〔吾妻鏡二十五〕承久三年七月九日辛卯今日踐祚也先帝仲於高陽院皇居遜位密々行幸九條院

戊剋新帝持明院二宮春秋自持明院殿被還御閑院車御其間自持明院迄于禁裏軍兵警衛路路云云

〔増鏡三藤〕その頃いとかすまへられ給はぬふる宮おはしけり守貞親王とぞ聞えける高倉院第

三の御子なり隱岐の法皇鳥羽の御このかみなればおもふはやんどなけれどむかし後白川

不爲親王不爲太子而踐祚